

蠟梅 Now

2016 年は、まさかのブレグジットに続き、大方の予想を裏切ったトランプの勝利に世界が大いに揺れた 1 年だった。今年も世界の主要国で重要な国政選挙が相次ぐが、世界の歴史が大きな転換点を迎えていることは、もはや誰もが感じているところではないだろうか。

公職経験も軍歴も皆無の、政治の素人でもあり、懲りずに暴言を繰り返してきた大穴のトランプが大統領選を制したことに、アメリカの専門家もさることながら、世界中が驚きをもって受け止めている。没落したアメリカ中間層の怒りの発露ともいわれるが・・・。

1 月 20 日の大統領就任以降、TPP からの離脱、オバマケアと呼ばれる医療保険制度の廃止、環境保全を軽視するパイプラインの建設等、大統領令を乱発し、これまでの秩序から決別するかのように、矢継ぎ早に舵を切り直し始めたトランプ新大統領。何かとてつもない大変化がアメリカを襲おうとしているとの指摘は後を絶たない。

数あるリスク要因の中でも最大のもの、移民政策の行方だろう。プアホワイトと呼ばれる支持層の不安や不満に訴えることで勝ち取った勝利だけに、その政策に何らかの変更を加えないわけにはいかない。始まった入国制限に国内外の世論が沸騰している。

先進国が軒並み少子化と労働人口減少に見舞われる中で、移民を受け入れることで経済力を蓄積・維持して繁栄を謳歌したアメリカという国の性格、在り方を根本から変える可能性があり、それがグローバルなカオス化の元凶となりかねない恐れを孕む。

フェニックスの如く、がんばろう 日本！

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」二世は、11 年 11 月の実生による誕生から年を越えて 6 年目に入った。例年のことながら、すっかり落葉してしまい、寒々しい佇まいである。大丈夫だろうか、心配しながら越冬、何もなかったかのように若葉が萌える頃を迎えるとやれやれ、ホッとする。

親木のほうはというと、1 月も最終週に入って、開花が始まった。昨年末は比較的暖かったため、開花が早いのでないかと思っていたが、寒波の襲来と居座りもあって、蕾を固く閉ざしたまま越冬、やっと綻び始めた。英語では Winter Sweet といわれるようで、微かながら春を思わせる甘い香りが漂い始めている。日本では、花言葉が「ゆかしさ」「慈しみ」。まだ花の少ない冬期に、そっと黄色い花を咲かせる蠟梅の控え目で奥床しい姿に因むともいわれる。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4
TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)
E-mail : info@npo-ffk.or.jp
URL : <http://www.npo-ffk.or.jp>